

法人（事業所）理念		運動やスポーツ活動の日常化を通じて障害者を支援し、外へ、社会へ、積極的に出ていく生活へ、転換を図るためのお手伝いをしたいと考えています。		
支援方針		障害者の運動・スポーツ活動の日常化を目指し、支援します。今まで家にももっていた子ども達に身体を動かし、汗をかき、爽快感や達成感を感じ自分に自信を持って頂けるよう、また目標を持った仲間たちと集団意識を持ち、連帯感を高め、他者を思いやれる子になって頂けるように指導を行います。そして、内にこもりがちな生活から外へ、社会へ、積極的にでていく生活へ転換を図るお手伝いをします。特に子ども達とエアロビクスダンスを通じ、基礎体力やバランス能力を向上させ、積極的な日常生活を遅れるよう支援します。エアロビクスダンスをスポーツの世界への入口として、いろいろな障害者スポーツに興味を持ち、チャレンジするように支援します。		
営業時間		授業終了後 9:30-18:30 学校休業日 9:30-17:30	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 到着後の検温・始まりの会での体調確認・水分の訴えの確認・意思表示が困難な児童・生徒へのきめ細かな観察を行っています。 外出後や到着後の手洗いの促し、指導。定期的なトイレへの誘導。お弁当やおやつを食べる際の食事介助、自助具の支援、姿勢保持の声掛けなどを行っています。 室温や外気温に適した服装の促し、汗をかいたり、汚れた際の着替えの介助や声掛けをしています。 障害特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化しています（ホワイトボードでの予定の確認。行動のフローチャートの記載。下駄箱や荷物置き場の配置など。） 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> フリータイムでの遊び（おいかっこ、トランポリンやバランスボール、キャッチボールなど）による姿勢・運動・基本的技能の向上を図っています。 魚釣りゲームやフリスビー鬼ごっこ、島とりゲーム、ポッチャ、ボウリングなど、ゲーム性を持たせた活動プログラムを実施しています。 「ソーラン節」「ジャンボリーミッキー」などの子ども達になじみ深い曲や、子ども達からアンケートをとって決めた「ライラック」「三原色」などの曲を通して、心地よく音楽に合わせる身体を動かしながら、リズム体操運動を行っています。 公園などに外出し、屋外でウォーキングやブランコ、滑り台、ジャングルジムなどの遊具遊びによる運動を行っています。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 到着後の検温→自分の荷物スペースに荷物を置く→手洗い→連絡帳の提出→着替えなどの準備の習慣化への支援を行っています。 始まりの会、終わりの会の日直当番やカゴの片付け、おやつのごみを集める、マットの準備などの仕事を役割分担して行っています。 ストレッチの際に、1から10までのカウントを児童自身で取れるように、職員と一緒に指で数えたり、数字表を見ながらカウントをとれるように練習しています。 始まりの会・終わりの会で児童自身で一日の予定を読み上げたり、職員の説明をよく聞くことで、見通しを持てるように支援しています。 四季の森公園や日本丸メモリアルパーク、アースプラザ、はまぎん子ども宇宙科学館などに外出し、施設外での環境にも慣れられるようにしています。 		
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 手話が必要とする児童に対して、手話を交えたコミュニケーションを取っています。 手話が必要とする児童が他児童や職員とコミュニケーションを取れるように、施設内の掲示物に手話表を掲示しています。 始まりの会・終わりの会での出席確認を児童自身が日直当番をして行っています。 フリータイムでの遊び、大玉送りや二人三脚、リレーなど全体で行う活動を通して、他児童や職員とのコミュニケーションをとっています。 発語が難しい児童への、ジェスチャーや指差しを通じたコミュニケーション手段の確立を目指しています。 		
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 大型の鏡に映る自身の姿や職員の見本を見ながら、ダンスの振り付けを練習しながら、模倣行動を支援しています。 活動の中で、果物や野菜、硬貨、紙幣を使った買い物ゲームを行い、象徴遊びを通じた社会性への支援をしています。 始まりの会・終わりの会の日直当番をくじ引きで行ったり、ダンスの曲をサイコロを使って決めるなど、ルールへの理解を促しています。 綱引きや鬼ごっこ、玉入れなど、集団で取り組む活動を通して、集団参加への手段やルールを理解し、集団活動に慣れるように支援しています。 		
家族支援		普段の利用時の様子や変化など、連絡帳の記載や送迎時の対面での申し送り、電話でのやりとりで家庭と情報の共有を行っています。	移行支援	学校や相談員、家庭と情報交換や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境を作り、支援していきます。
地域支援・地域連携		横浜市で管理する公園施設へ定期的に外出したり、鶴見川流域センターで防災について学んだり、日本丸メモリアルパーク、アースプラザなど、地域資源を活用しながら、地域への貢献、連携を行っています。	職員の質の向上	採用時研修（採用時2か月以内に実施） 継続研修（年4回以上実施）
主な行事等		夏祭り、ハロウィンの仮装パーティー、クリスマス、節分の豆まきなど、季節の行事を実施しています。クリスマスやハロウィンでは、フロアに装飾をして雰囲気を感じられるようにしています。		